

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

|      |   |
|------|---|
| 対象部局 | 理工学部  |
| 大項目  | 0 理念・目的   |
| 中項目  |   |
| 小項目  | 0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。                      |
| 要素   | 理念・目的の明確化<br>実績や資源からみた理念・目的の適切性<br>個性化への対応                |
| 小項目  | 0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。 |
| 要素   | 構成員に対する周知方法と有効性<br>社会への公表方法                               |
| 小項目  | 0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。              |
| 要素   |   |

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」   | 左記目標の「指標」   | 進捗評価 |
|---|-------------|------|
| 1. 理念、教育目的が新中期計画と矛盾していないか2010年度中に点検し、矛盾している場合2013年度中に再設定する。 | →再検討結果の報告書。 | C    |
| 2. 理念、教育目的を教員及び学生に対して2010年度中に周知する。                          | →教員、学生への周知  | A    |
| 3. 学科単位での教育目的を2011年度中に設定し公表する。                              | →公表したホームページ | C    |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
|                   | →         | ☆    |
|                   | →         | ☆    |

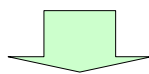
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

|            |   |
|------------|---|
| ☆ 小項目0.0.1 | <p>(理念・目的)</p> <p>【理工学部の理念】<br/>自然科学の基本原則とその応用について教育と研究をおこない、自然科学と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する。</p> <p>【理工学部の目的】</p> <p>1) 数学、物理学、化学、情報科学、生命科学の幅広い分野にわたり、基礎的研究を中心におきながら応用も視野に入れ、それぞれの分野が相互に緊密な連携を保ちながら常に先端的でレベルの高い研究を行う。<br/>2) しっかりとした自然科学の基礎知識と能力を身につけ、基礎を応用に繋げていくことが出来る柔軟な思考力を養い、未知の問題を発見していく能力と、その未知の問題に果敢に挑戦し、解決していくことが出来る能力に優れた、創造性に溢れた人材を育成する。<br/>3) 自然科学の知識と能力とともに、幅広い教養を養い、キリスト教主義教育で培われた豊かな人間性と倫理観を備えた人材を育てる。<br/>4) 社会との強い繋がりを絶えず念頭に置き、自然科学をとおして社会に大きなインパクトを与え、また、その技術的応用を通して、人間の存在に進歩をもたらすことが出来る教育と研究ならびに人材の育成を行う。</p> <p>(現状説明)<br/>上記のように理念・目的は明確化している。この理念を基に、理工学部は2009年度、数理科学科、物理学科、化学科、生命科学科、情報科学科、人間システム工学科の6学科体制となった。以前から行っている少人数制教育、研究機器の充実など教育環境も充実させ、有能な人材を輩出している。</p> |
| ☆ 小項目0.0.2 | <p>(現状説明)<br/>理念、教育目的について、既にホームページで公開している。さらに教授会で教員に周知し、学生に対しても入学時に周知徹底している。</p>  |
| ☆ 小項目0.0.3 | <p>(現状説明)<br/>大学・学部の理念・目的の適切性について、学部長室委員会及び教授会に於いて定期的に検証している。</p>   |
| ☆ その他      |   |

## ◎効果が上がっている事項

## 【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

|            |  |
|------------|--|
| 小項目0.0.1   |  |
| 小項目0.0.2   |  |
| ★ 小項目0.0.3 |  |
| その他        |  |



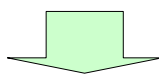
## 【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

|            |  |
|------------|--|
| 小項目0.0.1   |  |
| 小項目0.0.2   |  |
| ★ 小項目0.0.3 |  |
| その他        |  |

## ◎改善すべき事項

## 【点検・評価 (2)】改善すべき事項

|            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 小項目0.0.1   | 社会との繋がりを強化するため、理系を拡張し応用分野の更なる充実を図る。 |
| 小項目0.0.2   |                                     |
| ★ 小項目0.0.3 |                                     |
| その他        |                                     |



## 【次年度に向けた方策(2)】改善方策

|            |                         |
|------------|-------------------------|
| 小項目0.0.1   | 学生増も視野に入れた理系分野の拡張を検討する。 |
| 小項目0.0.2   |                         |
| ★ 小項目0.0.3 |                         |
| その他        |                         |

## ◎自由記述

## 【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

|                 |  |
|-----------------|--|
| ★ その他<br>(自由記述) |  |
|-----------------|--|

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○学部の理念・目的の点検や教員学生への周知が着実に進められています。

## 【学内委員】

○理工学部独自のHPを立ち上げ理工学部の理念・目的・教育目標を公表していることは評価できます。ただし、「教育」という項目の中に「理工学部の理念・目的」を示されていることはいかがでしょうか。また、「大学・学部の理念・目的の適切性について、学部長会及び教授会に於いて定期的に検証している。」とのことですが、具体的な事例を挙げ説明の方がより分かり易いと思われます。

○2009年度に設定した「目標」の1. と3. は関連すると思われますので、1. に示されているスケジュール通り本年度中に点検し、その結果が3. に反映されることが期待されます。そして場合によっては1. も2011年度中に再設定の方が整合性が取れると思われます。

○現時点での理工学部による進捗評価はCとなっていますが、2009年度より6学科体制となり、2013年度に行われる理念・教育目的の再設定に向けて順調に内容の検討が進展しています。理念・教育目標の公表および内容の検証については、さらに積極的に行うことが望まれます。

○改善方法において、「検討する」は曖昧です。どこで、いつ検討するか等補足されることが望まれます。

#### IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 0.1 (現状説明)  
学科ごとの教育・目的は、学部の理念・目的が再設定された場合、再検討する。
- 0.1 (改善にむけた方策)  
★ 理系充実に関して、K S C戦略本部会議にて、対策及び案を作成している。
- 0.2 (現状説明)  
「理工学部の理念・目的」については、毎年4月の「学部長室委員会」及び「教授会」にて、明文化したものを配布、説明することに決定している。

#### V. 本項目の評価指標

##### <全学的な指標>

|          |  |
|----------|--|
| 0.0.0.S1 | 本学の育成した人材(卒業生)に対する社会(企業)の評価                                      |
| 0.0.0.S2 | 卒業生がどの程度スクールモットー(マスタリー・フォア・サービス)をどの意識しているか                       |
| 0.0.0.S3 | 卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人の比率                              |
| 0.0.0.S4 | 卒業生のうち、自分の子供等、身内に関学への進学を勧めたいと思う人で、「スクールモットーに共感できる」ことをその理由とする人の比率 |
| 0.0.0.S5 | 在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率                      |
| 0.0.0.S6 | 本学出身でキリスト教関連活動に従事する者(牧師を含む)の数                                    |
| 0.0.0.S7 | 理念の周知について(1)ー理念・教育目標を宣布する発行物・行事などの種類・数                           |
| 0.0.0.S8 | 理念の周知について(2)ー総合コース「『関学』学」の履修者数                                   |

##### <個別的な指標>

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |